

病虫害発生予察地区報 第5号

— 地区情報 —

害虫名：ツマジロクサヨトウ

学名：*Spodoptera frugiperda* (J.E.Smith)

発生物種：スイートコーン

1 情報の内容

令和2年9月10日に、中信地域で栽培されているスイートコーンでツマジロクサヨトウに類似した幼虫による食害が認められ、農林水産省名古屋植物防疫所に同定を依頼したところ、ツマジロクサヨトウであることが確認された。県内での本種幼虫による農作物への被害は初確認である。

2 対象地域

中南信地域のスイートコーン、飼料用とうもろこし、ソルガムなど

3 発生経過

- (1) これまで県内では、フェロモントラップにおいてツマジロクサヨトウの雄成虫が確認され、「特殊報第1号」を令和2年7月28日に発出している。
- (2) 発見されたスイートコーン栽培ほ場は収穫終盤で葉は既に枯れているものが多く、被害は子実の先端部を食害しているものが多く確認された(写真1~3)。

4 形態、生態と被害

- (1) 病虫害発生予察特殊報 第1号(令和2年(2020年)7月28日)を参照する。

5 防除対策

- (1) 県外ではスイートコーンの他、飼料用とうもろこし、ソルガムで多く見つかっていることから、これらの作物については、引き続き、ほ場を定期的に見回り早期発見に努める。
本虫と疑われる幼虫を発見した場合には、速やかに農業農村支援センターまたは病虫害防除所まで連絡する。
- (2) 本種の発生が確認された場合、ツマジロクサヨトウに対する登録農薬はないが、県は植物防疫法第29条第1項の規定により、国が指定する薬剤の散布指導を行う(農林水産省ホームページ「ツマジロクサヨトウに関する情報」の「防除対策について」を参照)。
http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html
- (3) 収穫終盤、終了したほ場では、本虫の分散を防ぐため、早期収穫に努めるとともに、速やかに収穫後の残渣をすき込む。
すき込みの実施に当たっては、幼虫やさなぎを破碎、又は土中深くに埋没するよう、土の表面に作物が見えなくなるまで深くすき込み(深さの目安12cm以上)を2回以上行う。



写真1



写真2



写真3

長野県病害虫防除所 中南信担当
塩川正則（所長）
岩崎和之（次長） 水谷俊英（担当）
TEL : 0263-53-5642
FAX : 0263-54-4508
E-mail bojo-y@pref.nagano.lg.jp